

地方創生関係交付金事業に係る重要業績評価指標（K P I）一覧

事業名	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト
事業概要	「関係人口」に対して地域と多様に関わる機会を提供するとともに、創業支援施策等、「関係人口」が「しごと」を創出し定着することを支援する。
計画期間	令和元年度～令和5年度
交付金名	地方創生推進交付金

《 基 本 情 報 》						《 推 移 》							
NO.	所管部署	重要業績評価指標 (K P I)	単位	数値の 把握期間	備 考	事業開始前		実 績					進 捗 率 (令和 4 年度)
						平成30年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度		
1	観光商工課	県及び連携市町村で把握する移住者数・二地域居住者数	人	計画期間中の累計	この事業により創出された「関係人口」等が、実際に移住・二地域居住につながった人数であり、アウトカムベースで事業実施期間を通じた評価指標となる。	目 標	—	282	362	442	542	642	183.0%
						実 績	202	292	440	633	992		
2	観光商工課	この事業により創出される「関係人口」数	人	計画期間中の累計	この事業により創出される本県内地域と継続的な関りをもつ人数であり、事業実施期間を通じた移住・二地域居住の増加につながる母集団として、施策の成果を表す指標となる。	目 標	—	12,770	15,170	18,070	21,270	24,770	90.1%
						実 績	10,770	12,853	14,553	16,853	19,171		
3	観光商工課	東京圏のフリーランス等による新たな「しごと」の創出件数	件	計画期間中の累計	「関係人口」と本県内地域との継続的な関りの結果、事業実施期間を通じて地域の活力向上が図られた成果を表す指標となる。	目 標	—	15	30	45	65	85	90.8%
						実 績	0	15	21	29	59		

事業名	サイクリングによる地域活性化プロジェクト
事業概要	「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用し、地域の消費喚起を目的とする、コロナ禍に対応したライドアラウンド等のサイクリングイベントを実施し、商業振興に繋げることで地域の活性化を図る。
計画期間	令和3年度～令和5年度
交付金名	地方創生推進交付金

《 基 本 情 報 》					
NO.	所管部署	重要業績評価指標 (K P I)	単位	数値の 把握期間	備 考
1	観光商工課	サイクリングイベント参加者数	人	単年度ごと	サイクリングの推進に効果的と位置付けられる，コロナ過における新時代に適応した消費喚起型サイクリングイベント「4市合同ライドアラウンド」を推進していくにあたり，イベントの効果を的確に計測することが可能な基礎データとして参加者数を設定し，併せてイベントの開催目的である地域での消費喚起による地域活性化の効果を測定するため，イベントの消費金額を数値項目とする。
2	観光商工課	サイクリングイベント消費金額	千円	単年度ごと	K P I NO.1 同様
3	観光商工課	サイクリスト来訪者数	人	単年度ごと	サイクリスト来訪者数の把握は，平時の利用者を含めた，サイクリング環境全体の活性化及び定着化を計測するための根幹となる数値になる。
4	観光商工課	サイクルーズ利用者数	人	単年度ごと	4市すべてに寄港しているため，消費喚起型サイクリングイベント「ライドアラウンド」において，4市エリア間の移動手段として重要な役割を担うサイクルーズの利用者数は，霞ヶ浦北岸地域における総合的な来訪者数の把握の基礎材料となり，広域での地域活性化の指針となる。

《 推 移 》					
	事業開始前	実 績			進 捗 率 (令和4年度)
	平成30年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標	—	415	456	501	23.9%
実 績	378	313	109		
目 標	—	415	456	501	60.1%
実 績	378	423	274		
目 標	—	2,615	2,876	3,163	79.1%
実 績	2,378	2,627	2,276		
目 標	—	209	230	253	100.0%
実 績	190	311	230		

地方創生関係交付金事業に係る重要業績評価指標（K P I）一覧

事業名：水郷潮来サブリメント計画 ～SDGsなあやめ園を目指して～
事業概要：花菖蒲の開花時期以外にも観光客を呼び込めるあやめ園への転換を図り、滞在時間の延長や観光の通年化を目指し、観光による経済効果を高めていく。
計画期間：令和2年度～令和4年度
交付金名：地方創生推進交付金

《 基 本 情 報 》						《 推 移 》					
NO.	所管部署	重要業績評価指標 (K P I)	単位	数値の 把握期間	備 考	事業開始前		実 績		進 捗 率 (令和4年度)	
						令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
1	観光商工課	観光客動態調査による 入込客数	人	単年度ごと	年間を通して水郷潮来あやめ園内を歩いて楽しめるような通年型施設を目指すために、観光ソフト事業である5・6月開催の「水郷潮来あやめまつり」のほか、あたらしく企画を取り入れる。7・8月には藤棚や川風を利用した既設のイベント、9・10月には園内の池に水生植物「ミズアオイ」を開花させるなどし、多様なターゲットを対象にして、新たに人を呼び込むソフトイベント事業を企画し実施。それに相乗した形でハードい事業は、園内を拡大して散策できるように複数年で整備していく。		—	2,157,700	2,350,700	2,630,700	37.3%
							1,730,000	601,500	752,600	982,300	
2	観光商工課	新たな花嫁産業・観光 産業の経済効果	円	単年度ごと	既に先行して始めた花嫁産業による新たな経済効果(人力車・美容室・タクシー協会)を民間事業者の成功例として、商工会を通し公表するが、自らの商売に花嫁産業または観光産業へと儲かる仕組みを作ったり、可能性を見出す意識を大きく変えるのには、リスクなど勘案することから、一定程度時間がかかる。		—	9,437,000	11,440,000	14,196,000	21.5%
							5,040,000	0	0	3,051,000	
3	観光商工課	あやめ園を中心とした 市民協働事業参加人数	人	単年度ごと	初年度に行うシティープロモーション事業においては、エキストラなどの市民参加型の映画作成のほか、あやめまつり前後のあやめ園整備事業には、学校児童・生徒のほか市民を募り、市民協働で創り上げるあやめ園とし、観光客おもてなし促進事業を図る。また、あやめまつり期間中においても市民主体の事業へと移行していく。住民が観光事業に関わることは、観光地としての意識の向上が期待できるが、呼びかけ・周知により浸透させていくには一定の時間を要する。		—	3,700	4,000	4,400	6.8%
							1,500	280	100	300	

事業名：水の郷 石の蔵リノベーションプロジェクト
事業概要：津軽河岸跡周辺整備（旧JA倉庫）を地域資源として活用し、新たな拠点づくりを目指すため、耐震改修補強工事を実施する。
計画期間：平成30年度～令和4年度
交付金名：地方創生拠点整備交付金

《 基 本 情 報 》						《 推 移 》							
NO.	所管部署	重要業績評価指標 (K P I)	単位	数値の 把握期間	備 考	事業開始前		実 績					進 捗 率 (令和 4年度)
						平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		
1	観光商工課	カフェ・水郷マルシェ 等収益	千円	単年度	地域産業の各種中小企業者において、地場産業による元気な市場の開催や水郷マルシェなどの収益の向上で、コミュニティ・ビジネスとして地域産業の生産向上となる事業である。周辺に同様なカフェのような飲食施設・物産販売等の類似施設が無いため、情報発信を継続して行い、その事業効果を継続して測定して検証する必要がある。歴史ある潮来の観光客の多くは高齢化しているが、新たなカフェや水辺空間づくりにより、日本らしさにはインバウンド、嫁入り・ウエディングなどには若年層と一気に観光客の年齢幅が広がる。		—	0	5,600	8,500	9,500	10,800	28.3%
							0	0	759	910	1,747	3,051	
2	観光商工課	津軽河岸跡周辺雇用・ 出店者就業人数	人	単年度	K P I NO.1 同様		—	0	33	70	82	102	22.5%
							0	0	20	5	23	23	